

ツクシボウフウ

Pimpinella thellungiana H. Wolff

var. *gustavohegiana* (Koidzumi) Kitamura

セリ科
Umbelliferae

カテゴリー

大分県 IA

環境庁 IB

選定理由 火山性高原の草原を生育地とする。生育地は草地開発や土地開発などが進み、さらに植林や植生遷移の進行による環境の悪化で、絶滅の危険性が極めて高くなっている。

県内分布 九重火山群，由布・鶴見火山群，大分川・大野川丘陵地

分布域 九州(大分)

生育環境 丘陵地や低山地の草原や林縁。

現 状 生育地の草原が各種開発や植林，路辺の草刈りなどで著しく改変されている。

備 考 大分県特産種。基準標本産地 [九重町三俣山] 母種(コウアンボウフウ)は、東シベリア，アムール，ウスリーなどに分布している。国立公園指定植物 [阿蘇くじゅう]

シムラニンジン

Pterygopleurum neurophyllum

(Maxim.) Kitagawa

セリ科
Umbelliferae

カテゴリー

大分県 IB

環境庁 IB

選定理由 分布域が狭く、県内の生育地は火山性高原の湿地に点在し、個体数は少ない。各種の開発や植林，野焼きの停止による環境悪化で、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布 玖珠丘陵地・山地，九重火山群，由布・鶴見火山群

分布域 本州(関東地方南部) 九州(熊本・大分・鹿児島)
朝鮮半島

生育環境 丘陵地や低山地のやや湿った草原。

現 状 生育地の草原が改変されたり，植林などで植生が変化したりして，生育地が著しく減少している。

備 考 基準標本産地 [久住山]

フキヤミツバ

Sanicula tuberculata Maxim.

セリ科
Umbelliferae

カテゴリー

大分県 情報不足

環境庁 掲載なし

選定理由

県内分布 (九重火山群)

分布域 本州(中部地方以西) 四国 九州(熊本・大分)
朝鮮半島

生育環境 低山地や山地の谷沿いの林内。

現 状 九州では「九重火山群」に隔離分布し，その南限域にあたる。植生遷移の進行による生育環境の変化に伴って衰退した模様であるが，現存している可能性がある。